

約750の企業・団体が出展。今年も東展示棟全ホールで開催

「今」つくる 地球の「未来」 日本最大級の環境展示会 エコプロダクツ2013

2013年12月12日(木)～14日(土) 10:00～18:00 [14日(土)は10:00～17:00]



東京ビッグサイト 東展示棟1～6ホール 入場無料(登録制)

(一社)産業環境管理協会と日本経済新聞社は、12月12日[木]～14日[土]の3日間、東京国際展示場(東京ビッグサイト)において、「エコプロダクツ2013」を開催いたします。企業・団体、NPO・NGO、行政・自治体、大学・研究機関、そして一般生活者といった様々な立場の人が、エコプロダクツや環境活動に触れ、それぞれのスタイルでエコライフの実現を考える、日本最大級の環境展示会です。

第15回目の開催を迎える「エコプロダクツ2013」は、約750社・団体、1,750小間が出展予定で、東京ビッグサイトの東展示棟全ホールを使用し実施します。3日間で18万5千人の来場を見込んでいます。

本展示会では、家電や日用品をはじめ、化学や紙などの素材、エネルギー、金融、環境先端技術やソリューションなどあらゆる分野のエコプロダクツ・サービス、環境技術が展示されます。ビジネスパーソンには最先端の環境ビジネスに関する情報を、一般生活者には今日から始められるエコライフのヒントを発信します。また、出展企業のCSR活動や、環境系NPO・NGO、市民団体による活動、政府や自治体の環境政策なども紹介し、出展者と、多様な来場者との環境コミュニケーションを通じて、持続可能な社会の実現について考え、実践していくための場を提供します。

開催テーマは「今」つくる地球の「未来」

環境のことを考えた「今」の行動の積み重ねが、これからもずっと続く「未来」をつくります。命をはぐむ地球を次世代に繋げていくためには、私たち自身があるべき地球の未来を想い、そこから「今」ある技術、社会、自然と共生できる暮らし方について問い直し、行動していくことが必要です。よりよい未来を実現するために、「今」を見直し、よりよい未来を目指そうという意味を込めて、今年の開催テーマを「今つくる地球の未来」としました。エコプロダクツ展では私たちが、明るい未来を迎えるための最先端のエコプロダクツや技術を紹介していきます。

公式サイト(<http://eco-pro.com>)では、「オンラインガイド」で出展製品・サービスの情報や各出展者のプレゼンテーション予定などを検索することができます。ご来場前にチェックして、「エコプロダクツ2013」を、より深く、より分かりやすくご覧いただけます(「オンラインガイド」は、出展者により随時更新されます)。

本展示会の情報を、貴媒体にぜひご掲載くださいますようお願い申し上げます。また、ご掲載の折には掲載紙・誌、URLなどを広報事務局(最終ページ参照)までお送りいただくと幸いです。



ーエコプロダクツ 2013 の見どころー

最新のエコプロダクツや環境技術の展示だけでなく、様々な体験コーナーやワークショップ、ガイドツアーなどをご用意。子供から大人まで、あらゆる世代の方が楽しめる、ためになるブースが盛りだくさん！

未来をつくる様々な「今」の環境事業を各テーマゾーンで紹介！

■スマート&グリーン 新たなエネルギーが拓く日本の未来

「再生可能エネルギーの固定価格買取制度（FIT）」導入を機に、再生可能エネルギー関連ビジネスが活性化の兆しを見せています。また、CO2 削減の切り札としても再生可能エネルギーの導入拡大が期待されています。今年初めて開設される本ゾーンでは、太陽光、風力、地熱、バイオマスなど各再生可能エネルギーの最新動向を中心に、実証プロジェクトの概要を展示とセミナーで紹介し、次世代エネルギー普及がもたらす可能性を探ります。



■ニッポン・エコビジネス

昨今、「環境事業」で存在感を高めている地域が目立つようになりました。本ゾーンではそんな日本各地の「環境」にまつわる施策や取り組みなどを紹介。日本全国北から南まで、自治体や各地の産業振興団体が出展し、地域で活躍する環境企業や自治体自体の環境活動について展示します。持続可能な社会づくりにつなげるエコ産業力や技術力でのビジネスパートナーの募集、域内の資源やエネルギー活用の提案、世界遺産の PR など、自治体・行政機関の環境力をまとめてご覧いただけます。



■エコビジネス特区

ビジネスパーソンも多く来場するエコプロダクツ展。そんなエコプロダクツ展だからこそ実現できる、環境ビジネスの商談。今年はそんな環境ビジネスに特化したゾーンを初めて設けました。商談スペースやプレゼンテーションステージを設置し、商談・取引をサポートします。

■森林からはじまるエコライフ展 2013

現在、地球温暖化がさらに進行することにより、極端な乾燥や大雨が増加し、干ばつや洪水などの危険性が増すことや、生態系の破壊、食料生産への影響、熱帯病の増加等、広範な分野において様々な影響が懸念されています。このような状況の中で関心が高まっているのが、森林がもつ二酸化炭素の吸収能力です。本展では、そんな森林に関するゾーンを設置。地球温暖化防止や生物多様性保全に向けた、企業や NPO などによる森づくりや木材利用、環境教育、都市山村交流などの多様な活動やサポート制度を紹介します。海岸林再生や東北地方の間伐材などを活用した復興支援の紹介コーナーやワークショップ、休憩スペースなどを設け、最新の森林事業にまつわる情報をお届けします。



■今年は会場の装飾を木質化！

会場エントランスやステージ、お休み処などの装飾を、国産材を利用して「木質化」します。木の香りやぬくもりの心地よさを体感してください！



種類豊富なエコごはん！自分だけのエコプロダクツが見つかるエコな買い物！エコカーの乗車！

エコプロダクツ展でエコライフを体験！

■エコの最新動向を学び、新しい視点が発見できる魅力満載のエコツアー

会場内エコツアー…エネルギーやエコビジネス、ソーシャルなど、環境の専門家が6つのテーマで会場をナビゲートします。未来をより豊かなものへと変えていく、情報収集にお役立てください。

エコプロエコキッズ探検隊…小中学生向けの会場内ツアー。「温暖化防止」「3R」「ライフスタイル」などのテーマごとに会場内の3ブースを見学します。

「海の森」見学会…ごみと建設発生土の埋立地で植樹活動による森づくりが進められている東京都の「海の森」を見学するツアーです。「海の森」公式 HP→<http://www.uminomori.metro.tokyo.jp/>

海外来場者向けツアー… 海外来場者向けにそれぞれの言語で会場内を解説するツアーを実施します。

■「エコカー乗車体験」…燃料電池車やハイブリッドカーなど、魅力的なエコカーに同乗して有明周辺を約3km 走行します。

■「エコごはんとスイーツ」…オーガニック食材や国産の旬な素材を使用したエコ弁当等、今年も完売間違いなしの品揃えと
なっています。

■「グリーンストアーズ」…こだわりのオーガニック／エコ／フェアトレードアイテムを購入いただけます。自分のライフスタイルに合ったエコプロダクツを見つけてください。

■「自転車 Eco 学園」…自転車の構造やテクノロジー、社会的なルールなど、自転車を取り巻く知識や楽しみ方を、様々な体験を通して紹介します。



—開催概要—

■名 称: エコプロダクツ 2013[第15回]

■会 期: 12月12日[木]～14日[土] 10:00～18:00 [14日(土)は10:00～17:00]

■会 場: 東京ビッグサイト(東展示棟) 東1～6ホール

■入 場 料: 無料(登録制) ※ホームページ(<http://eco-pro.com>)で来場事前登録受付中

■主 催: (一社)産業環境管理協会、日本経済新聞社

■後 援: 経済産業省、環境省、文部科学省、国土交通省、農林水産省、厚生労働省、(一社)日本経済団体連合会、
(公社)経済同友会、日本商工会議所、東京商工会議所、(独)新エネルギー・産業技術総合開発機構、
日本貿易振興機構(ジェトロ)、東京都、埼玉県、神奈川県、千葉県、埼玉県教育委員会、神奈川県教育委員会、
千葉県教育委員会 [順不同]

■協 力: (公社)日本消費生活アドバイザー・コンサルタント協会、グリーン購入ネットワーク、(公財)日本環境協会、
全国連合小学校長会、日本私立小学校連合会、全日本中学校長会、全国高等学校長協会、
全国国立大学附属学校連盟、全国小中学校環境教育研究会、私立大学環境保全協議会、
(公社)全国工業高等学校長協会、全国商業高等学校長協会、全国農業高等学校長協会、
(公財)日本適合性認定協会、(一社)情報通信技術委員会 [順不同]

■メディア協力: 日経BP 環境経営フォーラム、日経エコロジー、ecomom、環境 goo、教育新聞、日本教育新聞 [順不同]



- 来場対象:** ・企業経営者、企業の購買部門、環境管理部門、製品・商品開発部門、経営戦略部門、社会貢献部門 など
・自治体・官公庁の地域振興部門、購買部門、環境部門 など
・各業界団体、地域産業・商工団体 など
・環境NPO・NGO、市民グループ、環境に関心のある一般消費者(ファミリー、主婦、学生、小・中・高生)

■**来場者数:** 185,000人(見込み、前回実績:178,501人)

■**展示規模:** 750社・団体/1,750小間(予定) (前回出展実績:711社・団体/1,735小間)

■**来場者からのお問い合わせ先:** フリーダイヤル 0120-261-122 (9:00~18:00 土・日・祝日を除く) ※12月20日までのご案内です。

☞**企画の詳細や最新情報のチェックはホームページで → <http://eco-pro.com>**

「プレス」ページでプレスリリースや前回会場写真/ロゴデータをダウンロードできます。ご利用ください。

☞**プレスご来場について**

東5ホールの商談室(1)に、プレスルームを設けます。当日は、こちらのプレスルームにお越し下さい。

プレスバッジ・報道資料を配布いたします。

■ **本リリース、広報用素材に関するお問い合わせ先**

「エコプロダクツ 2013」広報事務局 共同PR株式会社内 担当: 渡辺(幸映)、中里、宇津木

〒104-8158 東京都中央区銀座7-2-22 同和ビル

TEL/03-3571-5238 FAX/03-3571-5380 e-mail: sachie.watanabe@kyodo-pr.co.jp

